

日常点検項目

- ピッチングマシンを安全にご使用いただくため、お使いになる前に以下の項目を点検してください。
- 異常を確認された場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- マシンの点検・部品交換・調整作業は、必ず電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。 ※点検項目⑨は除く
- この日常点検項目は、ホイールマシン全般向けに作成したものであり、現物とイラストは異なります。昇降台など、機種によって装備されない箇所については、点検を省略してください。

①ホイールの剥離

ウレタン(またはゴム)とアルミの接着面に剥がれはありませんか？

②ホイールの亀裂

ウレタン(またはゴム)、アルミ部分に亀裂や損傷はありませんか？

⑥上下・左右・角度の固定

上下・左右・角度調整部は固定できますか？

⑦マシン本体の固定

本体は固定できますか？

⑤シュートの変形・破損

シュート部分に変形・破損はありませんか？

④ホイール留めのボルト緩み

ホイールはボルトでしっかり留まっていますか？

③ホイールの消耗

ホイール間隔は適正ですか？

⑧リード線の被覆破れ

導線は絶縁被覆で保護されていますか？

⑨異常振動・異音・異臭

マシン始動時に異常振動・異音・異臭はありませんか？

⑩昇降台の下降スピード

昇降台は安全なスピードで下降しますか？

⑪使用球

マシンの仕様にあったボールを使用していますか？

ボールの消耗度は均等ですか？

著しく傷んだボールはありませんか？

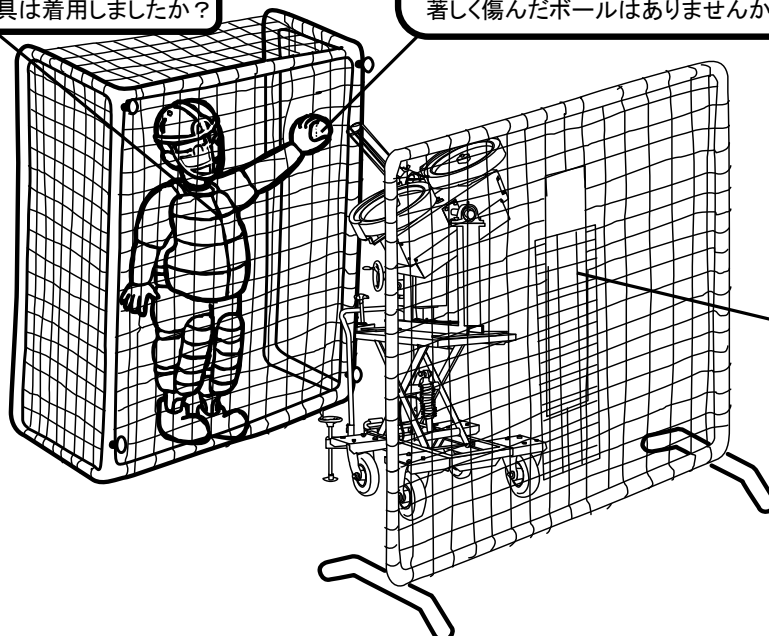
⑬マシン操作時の防具

マシンを操作する際、防具は着用しましたか？

⑫防護ネット

マシン前ネット、投球者保護ネットは設置しましたか？

ネットは破れていませんか？



① ホイールの剥離

ウレタン(またはゴム)とアルミの接着面に剥がれが無いかを確認します。剥離したホイールを高速回転させると、遠心力によりウレタン(またはゴム)が飛散する恐れがあり、大変危険です。ホイールが剥離している場合は交換が必要です。

② ホイールの亀裂

ウレタン(またはゴム)、アルミ部分に亀裂や損傷が無いかを確認します。亀裂や損傷があるホイールを高速回転させると、遠心力によりウレタン(またはゴム)が飛散する恐れがあり、大変危険です。ホイールに亀裂や損傷がある場合は交換が必要です。

③ ホイールの消耗

ホイール間隔が適正かを確認します(硬式:52mm、軟式A・B号:38mm、軟式C号:35mm、ソフトゴム1号:65mm、ソフトゴム2・3号:72mm、ソフト革:75mm)。

注)下記マシンの型式については以下の間隔となります。

【形式】: COU・COR/CPU・CPR/CQU・CQR

硬式:51mm、軟式A・B号:32mm、軟式C:28mm

【形式】:BSA

ソフト革、革イエロー:80mm

ホイールが磨耗して間隔が広がると、ボールの挟み込みが弱くなり、速度低下やコントロール悪化の原因になります。

ホイールが磨耗している場合は間隔調整が必要です。

また、ホイールが5mm以上 磨耗している場合は、ホイール研磨をお勧めします。

ホイールの使用期限は3年間です。
使用頻度・磨耗の度合いに拘らず、
使用期限を過ぎたホイールは交換してください。

④ ホイール留めのボルト緩み

ホイールを留めるボルトが緩んでないかを目視で確認します。

ボルトが緩んでいると、ホイールが不安定に回転するため、コントロール悪化の原因になります。また、ホイールが高速回転時にボルトが取り外れると、ホイールが脱輪し、大変危険です。ボルト取付が緩んでいる場合は、工具を使用し、しっかり締めてください。

⑤ シュートの変形・破損

シュートに変形や破損が無いかを確認します。シュートに変形・破損していると、コントロール悪化の原因になります。また、シュートとホイールが接触すると、ホイールが損傷する恐れがあります。シュートに変形・破損している場合は、調整あるいは交換が必要です。

※ マシン移動時にシュートを持たないでください。

シュートの変形や破損の原因となります。

⑥ 上下・左右・角度の固定

上下・左右・角度調整、それぞれの固定部品に変形・破損・サビ付き・脱落等がないかを確認します。調整箇所を固定しないままマシンを使用すると、コントロール悪化の原因になります。

固定ができない場合は、調整や部品交換が必要です。

⑦ マシン本体の固定

地面への本体固定部品が正常かを確認します(キャスターブレーキ、本体固定ハンドル、クイ、地面の安定性)。本体を固定しないままマシンを使用すると、コントロール悪化の原因になります。固定ができない場合は、調整や部品交換が必要です。また、荒れた地面等の不安定な場所に本体を置いてマシンを使用すると、コントロール悪化に加え、投球時の振動により本体が転倒する恐れがあり、大変な危険を伴います。本体が安定した状態で設置できる場所でお使いください。

⑧ リード線の被覆破れ

リード線の被覆が破れて導線が見えてないかを確認します。

導線が剥き出しのままプラグをコンセントに差し込むと、漏電・感電する恐れがあり、大変危険です。リード線の導線が見えている場合は交換が必要です。

⑨ マシン始動後の異常振動・異音・異臭

マシンを始動後に、本体に異常振動・異音・異臭が無いかを確認します。

異常が発生したままマシンを使用すると、

コントロール悪化や、各部の故障の原因になります。異常が発生した場合は、直ちにマシンの使用を中止してください。

⑩ 昇降台の下降スピード

昇降台が上昇した状態からSTOP・DOWNハンドルを「DOWN」方向(反時計回り)に回して、下降スピードを確認します。下降スピードが速い場合は、昇降装置の調整や部品交換が必要です。

⑪ 使用球

下記の条件を全て満たすボールであるかを確認します。

条件に満たないボールを使用すると、速度が不安定になったり、コントロール悪化の原因になります。また、ホイール等 各 부품の損傷・変形・故障の原因になります。

- ・マシンに表示された仕様球であること。
- ・同程度の消耗度であること。
- ・著しい変形・損傷・擦り減り・重量変化がないこと。
- ・濡れていないこと。

※新しいボールを使用するとスリップして、速度やコントロールが乱れる場合がありますのでご注意ください。

⑫ 防護ネット類

投球者保護ネット・マシン前ネットが設置してあるか、ネットに破れ・ほつれがないかを確認します。防護ネットに不備があると、投球者に打球が衝突する恐れがあり、大変危険です。

安全のために防護ネットは必ず使用してください。また、防護ネットはマシンに異常が起こった際の安全対策にもつながります。

⑬ マシン操作時の防具

マシンを操作する際、防具(ヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなど)を着用しているかを確認します。防護ネット同様、安全のために防具は必ず着用してください。